



こくろうよなご

第4号

2024年10月25日

発行責任者 倉下文明

編集 教宣部

つくろう職場に労働運動を！ ひろげよう闘いを 職場に、地域に、全国に！



お話を聞いて、まさに私たちの暮らす地域で起きていること、そのものだと強く感じました。(倉下)

はじめに、日本大学の「桜井 徹」名誉教授から「JR体制と鉄道ネットワークの持続可能性」についてをテーマに基調報告を頂きました。桜井教授のお話を聞いて特に感じたこととして、「JR体制を支える二つの論理」という項目について、産業論から見ると、利用者の自由な選択（総合交通体系の否定）、自動車との競争条件の不平等化（道路偏重のインフラ投資）が挙げられ、

鉄道の日にもあたる10月14日、東京都内の交通ビルにて「JR発足37年、改めて公共交通を考えるシンポジウム」が開催されました。国労議員団の植田江津市議員もパネラーとして参加され、「三江線無き後の地域公共交通の課題」などについて報告をされました。

道路偏重と 総合交通体系の否 JR発足37年を考える

鳥取県・島根県支部が定期大会を開催

懸念される重大事故の発生！！ 木次線を残す為の取組みを！！

9月20日、労金浜田支部にて「第4回島根県支部定期大会」が開催されました。議長に出雲地区分会の大下代議員を選出、藤江委員長・来賓の皆様挨拶に続き、森岡書記長の方針提起、山本財政部長の決算・予算の提案を受け、一括質疑に入りました。

9月28日、米子地方本部にて第4回鳥取県支部定期大会が開催されました。議長に千葉代議員を選出、山田委員長の挨拶に続き、方針提案、決算・予算の承認を得て、質疑に入りました。

木次線が残るような運動をしていきたい。鉄道事業者任せでいいのか。上下分離・道路と同等の格付けにするなど取り組んで行かないといけない。駅の無人化により、不正乗車など増えていないか、対策が必要ではないか。

9月20日、労金浜田支部にて「第4回島根県支部定期大会」が開催されました。議長に出雲地区分会の大下代議員を選出、藤江委員長・来賓の皆様挨拶に続き、森岡書記長の方針提起、山本財政部長の決算・予算の提案を受け、一括質疑に入りました。

6月にC担当を剥がれた。列車遅れと連絡体制など対応出来ない場面もある。非番は疲れて何もする気にならない。社会人採用者が増えた。営業の人と話をする機会も減ってしまった。

6月にC担当を剥がれた。列車遅れと連絡体制など対応出来ない場面もある。非番は疲れて何もする気にならない。社会人採用者が増えた。営業の人と話をする機会も減ってしまった。

黒崎代議員 年休が競合した場合、誰かが我慢をしている。

年休が出ない。出産・組合専従などで実働が足りず、係長が乗車している。乗務範囲の拡大で、米子まで2往復の行路が出来る。要員確保をお願いしたい。



その後、業務部長・地方本部がそれぞれ答弁を行い、新役員の選出、大会宣言の採決に続き、藤江委員長の団結頑張りうで閉会しました。

その後、業務部長・地方本部がそれぞれ答弁を行い、新役員の選出、大会宣言の採決に続き、藤江委員長の団結頑張りうで閉会しました。

